

令和7年度 第3回浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等検討会 議事要旨

1. 検討会概要

日時：令和8年2月4日（水）15時00分～17時00分

場所：海上技術安全研究所3号館別館会議室／オンライン（Teams）

2. 議事概要

○事務局からの説明

1) 令和7年度事業の成果まとめ

○主なご意見

- 係留システムの健全性評価のためのモニタリング方法について、支持浮体の位置の変化を利用する方法を検討しているが、TLP浮体で監視している緊張係留の張力など、他のデータの利用も検討すべきである。
- リスク評価に基づいた検査方法に関する調査として、点検実績データの分析、点検日数と安全性を推計するモデルの構築等を行った。ただし、評価に用いるサンプル数が少なく、またコンクリート浮体特有の点など、現時点では基礎となるデータが不足しているため、今後、利用可能となるデータを加えながら精度を上げてほしい。
- 新たに制定されたIEC 61400-3-2について、必要なチェックを行いながら、国内基準への取り入れを急いでほしい。